

愛知県議会議員 わたらい克明の

県政ジャーナル



いつも全力! 庶民派

2006年 夏号 (第29号)

発行人 わたらい克明事務所
豊橋市多米東町二丁目20番地の12



新しい戦いで、新たな大勝利を!

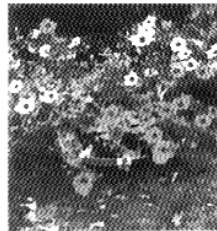


◆ジャワ島被災者救援募金 (6月11日)
支援、ご協力ありがとうございました

四季の折々



★
ペチュニア



◆花ことば◆
あなたといると
心が休まる



◆宮古島を視察 (5月17日~19日)

地下ダム、
農業・観
光事業を
視察



暑さ厳しき折、皆様方におかれましては、ご健勝のこととご推察申し上げます。

日中の茹だるような暑さに加え、熱帯夜で寝苦しい日々が続きます。夏バテ防止など健康のためだけでなく、環境保護の観点から、エアコンの設定温度は高めの二十八度に、そしてマイカー利用は控えて電車・バスを利用する、また、打ち水をするなど、少しでも都市の温暖化を食い止め、街を涼しく保ち、元気で快適な夏を過ごしたいと思っております。

さて、豊橋市では、万博に出展されていたマンモスが、市制施行百周年を記念して展示され大好評でありました。また、七月十五日には、愛知万博の長久手会場として多くの来場者を集めた、かつての愛知青少年公園が、「愛・地球博記念公園(愛称・モリコロパーク)」として一部オープンいたしました。今回オープンしたのは「サツキとメイの家」や児童総合センター、自然体感遊具などです。万博の時には、抽選に外れたり、行列待ちで時間を取られたり、十分に回れなかった方も多いと思いますので、夏休み中にぜひお出かけいただければと思います。

近頃の国内経済には明るさが広がってきており、景気の拡大は戦後最長のいざなぎ景気をしのぐ勢いであります。県内においても輸送機械産業を始め景気は力強さを増しております。皆様方の幸せの実感を着実に向上させるために、今後も全力で議員活動、議会活動に取り組みまいりますので、よろしくお願いいたします。

来年は、私の選挙となります統一地方選や参院選が行なわれる「二〇〇七年決戦」の年であります。私も大勝利へ向けて、新たな前進をする決意であります。

今後ともどうか皆様方の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成十八年 七月



「あらしり」

愛知県議会議員

渡会 克明

県議会報告 6月定例議会

一般質問 質問と答弁の要旨 一部抜粋

6月22日公明党愛知県議員団を代表し一般質問を致しました。

県議会録画中継が下記アドレスで視聴できます。

<http://www.pref.aichi.jp/gikai/tyukei/>



◆がん対策について◆

＜渡会議員＞

1. 去る6月16日に、参院本会議にて、「がん対策基本法」が可決・成立し、平成19年4月1日から施行されます。各都道府県は、「都道府県がん対策推進計画」を策定することになります。が、どのような形で計画・推進していくのか。

（健康福祉部健康担当局長答弁）

「愛知県がん対策推進計画委員会」（仮称）を設置し、がん医療の専門家やがん患者の方及びその家族又は遺族の代表者に委員をお願いし、がん対策の具体的な目標や達成時期について検討、県民の皆様からのパブリックコメントや関係機関のご意見を踏まえて、がん対策の一層の推進を図ってまいりたい。

＜渡会議員＞

2. がん克服に向けた他分野との連携について伺う。

（健康福祉部健康担当局長答弁）

愛知県がんセンターが、大学や企業との連携を図るために設立されました「あいち健康長寿産業クラスター推進協議会」への参画や、「がん細胞だけを攻撃する薬の開発」など、臨床医学への応用を視野に入れた研究を進め、産学行政が一体となり、がん克服に努めてまいります。

＜渡会議員＞

3. がん医療の「均てん化」を図るためには、医師をはじめとする医療従事者の育成、医療機関の整備などが必要と考えられますが、県はどのように「均てん化」を進めるのか。

（健康福祉部担当局長答弁）

国は、今年2月に新たに「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」を定めました。がん診療連携拠点病院として指定を受けることが放射線治療や緩和ケアの整備につながり、均てん化に寄与するものと考えております。

また、均てん化を図るうえでは、がん医療の従事者の質の向上を図る必要があり、がん診療連携拠点病院に地域での研修の実施が義務付けられましたので、今後は地域における専門医などの育成がさらに図られるものと考えております。

なお、本県では、現在までに地域がん診療連携拠点病院として、6医療機関が指定を受けておりますが、今後はさらに均てん化の推進のため、指定医療機関のない2次医療圏におきましても順次、指定を国に働きかけてまいります。

＜渡会議員＞

4. がん登録事業を県の施策として実施していますが、その現状と今後の推進方法について、お伺いいたします。

（健康福祉部担当局長答弁）

最近の届出件数は、毎年約2万件となっております。特に県内中央部のデータは、信頼性が高く国際がん登録学会が発行いたします、五大陸のがん罹患報告書に来年から掲載される予定とな

っています。

医療機関に対する働きかけを、より一層強化し、本事業の目的を広く県民のみならずアピールし、県のホームページを始めとする各種広報媒体を活用した広報に努めてまいりたいと考えております。

（知事答弁）

こんなにも科学あるいは医学が、発展をしましてまいりましたけれども、死亡原因の第一位、約3割を占めております。

「がん対策基本法」が成立し、特徴的なのは、国も地方も計画を作り、数値目標を掲げ、達成時期も定める、5年ごとに見直そうということでございますので、これは、がん対策を推進するうえで効果があるものと思っております。

愛知県では、がんセンターが中心となり、予防、あるいは研究・診断・治療まで幅広くがん対策を進めてきたところでございます。この法律によって、法的な根拠が与えられることになり、より実効あるがん対策を講ずることが出来るのではないかと大いに期待をし、しっかり取り組んでいきたいと思っております。

均てん化でございますが、拠点病院と地域の医療機関のネットワークを構築して均てん化あるいは医療の水準向上に努力してまいりたいと思っております。

◆認定こども園について◆

＜渡会議員＞

県は、新しい施設として創設される「認定こども園」をどのようにとらえ、また、子育て支援の面においても、どう位置づけていられるのか、お伺いをいたします。

（健康福祉部長答弁）

保育と教育を一体的に提供して、子どもの育ちを一貫して支える認定こども園は、誠に時宜にかなったものであると考えております。

また、認定こども園は、地域における子育て支援機能を持つことも必要とされており、すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談や親子のつどいの場などを提供し、身近な地域における子育て支援の一層の充実・強化を図ることになるものと位置づけ、期待するものです。保育所と幼稚園の機能がともに生かされ、利用しやすく、安心して子どもを預けられる施設にしてまいりたいと考えております。

◆学校における「食育」の推進について◆

＜渡会議員＞ ※『食育』（4面「豆知識」参照）

1. 国の食育推進プランの充実を受けて、本県では本年度、学校における食育推進事業をどのように取り組むのか。

（教育長答弁）

本県独自の事業として、子どもたちの朝食について焦点を当てた「子ども食育推進事業」を実施することとしております。特に成長期である中学生が栄養豊富な朝食の必要性を考え、健康的な生活習慣を身につけることができるよう、中学生自らの朝食の献立を募集し、優秀作品について実際に調理する「我が家の元気な朝ごはん」コンテストを開催するものでございます。

また、コンテストの結果の紹介を含め、中学生の適切な朝食の在り方について啓発資料を作成し、県内全ての中学生に配布するなど、健康的な食生活の意識付けを図ってまいりたいと考えております。

2. 栄養教諭について 3. 教育委員会と関係部局との連携についての質問・答弁は、省略させていただきます。

3月25日

東三河ふるさと公園開園 記念植樹



11番目の県営都市公園として、豊川市、御津町にまたがる遠見山・新宮山の自然環境を活かし一部開園。記念植樹を致しました。



わたちゃんのフォト・NEWS

4月28日 アクアリー+豊橋開館記念式典



総合スポーツ公園内（神野新田町内）に、屋内プール（夏期）、スケートリンク（冬期）、トレーニング室などを備えた施設がオープン。



5月17~19日 宮古島市 視察



党県議団（有志）で、沖縄県宮古島市における農林水産省の田園マルチメディアモデル事業や地下ダムなど農業、観光で生きる島を視察してきました。

5月26日 5月臨時定例議会

臨時定例議会が開催され、議長、副議長、各種委員会などの役割が決まりました。

私は、健康福祉委員会委員、名古屋港管理組合議会議員となりました。

愛知県議会も6月1日から9月30日まで、省エネ・温暖化防止のためクールビズになります。

6月22日

6月定例議会 一般質問



6月11日 救援街頭募金

ジャワ島中部地震被災者救援募金を豊橋市議、青年局の皆さんと行ないました。ご協力ありがとうございました。



6月12日 高知県子ども課を訪問

子ども課を平成10年設置と早くから子供に特化した政策作りをしてきた先進県の取り組みや特色ある子育て支援の条例などを伺ってきました。



スタート・ゴールになっている賞茂しょうぶ園、6月はしょうぶ祭りを開催。



健康の道 「賞茂しょうぶ園コース」

三万七千株ものしょうぶが咲き、カタクリ山など自然豊かなウォーキングコース。賞茂しょうぶ園は西川芸能練習場とカタクリ山の全長約8・9キロの「健康の道」を紹介しています。

豊橋市HP『健康の道』 <http://www.city.toyohashi.aichi.jp/kenkou/health-road.html>

豊橋市制施行100周年記念事業

■とよはし100祭実行委員会
http://www.toyohashi100.jp/



Toyohashi City 100th Anniversary

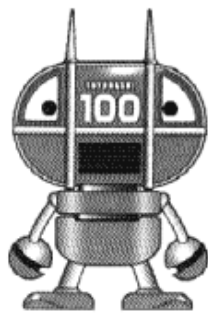
つながり ひろがる 未来 豊橋

とよはし100祭 記念ビール

豊橋市制100周年を祝う記念商品として、「豊橋市制100周年記念肩ラベル」(ラガー中びん)を、豊橋市内限定で6月8日から数量限定で販売中。豊橋市内の様々な飲食店で取り扱われますので、是非お楽しみください。
(予定数量販売次第売切れとなります)



期間限定
発売!



豊橋百科事典

平成18年8月刊行予定!

市制施行100周年記念として「豊橋百科事典」を刊行します。この事典は、郷土への愛着と理解を深めるため、風土、自然、市の成り立ち、先人の足跡から現在までを簡潔にまとめ、豊橋の過去・現在・未来の橋渡しをする事典をめざしています。

- A5版、横書き、50音順(国語辞典のような記載)
- 1項目400字程度で約3000項目を掲載
- 写真、図版が入ります

《豆知識》 食育

食育とは、国民一人一人が、生涯を通じて健全な食生活の実現、食文化の継承・健康の確保等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身に付けるための学習等の取り組みを指します。

食育【参考】

「食育」という言葉は、明治31年(1898年)石塚左玄が「通俗食物養生法」という本の中で「今日、学童を持つ人は、体育も習育も才育もすべて食育にあると認識すべき。」と、明治36年(1903年)には報知新聞編集長であった村井滋彦が、連載していた人気小説「食道楽」の中で「小児には徳育よりも、習育よりも、体育よりも、食育がさき。体育、徳育の根元も食育にある。」と記述しています。最近、「食育」という言葉が改めて広く聞かれるようになりましたが、そのルーツは大変古い物です。

早咲きの花 知ってますか?

2006年7月29日 愛知県先行ロードショー

人気小説家・宗田理の3つの作品をベースに、「ぼくらの七日間戦争」を手掛けた菅原浩志監督が脚本・監督した感動のドラマ「早咲きの花」。

豊橋市制100周年を記念に、豊橋をメインロケ地にして、多くの市民が協力参加しています。名女優・浅行ルリ子が演じる失明を宣告されたカメラマンが故郷・豊橋を訪れるところから物語は始まります。

7月29日より、ユナイテッド・シネマ豊橋18、マイカルシネマズ豊川などでロードショー! ただいま豊橋商工会議所などで、豊橋市制100周年記念特別価格で前売り券を大人1000円、子供800円で絶賛発売中です。



早咲きの花 公式HP <http://www.hayazaki.com/>

書らしの相談110番

■自宅■ 〒440-0028 豊橋市多米東町二丁目20番地の12 電話 (0532) 62-9633 FAX (0532) 64-4368 E-mail katsuaki@watarai.org	■県庁■ 〒460-8501 名古屋市中区三の丸3丁目1番2号 電話 (052) 961-2111 FAX (052) 961-2013 URL http://www.watarai.org/
--	---

○公明新聞購読のご案内 ○ 後援会入会のご案内 ○
購読料1カ月 1,835円 <http://www.watarai.org/supporter/>
新聞購読、後援会入会希望の方は「わたらい」までご連絡ください。

公明党法律相談 (予約制)

■2006年■
8月4日(金) 8月18日(金)
9月1日(金) 9月15日(金)
10月6日(金) 10月19日(金)
午後6時30分~ 豊橋市民文化会館
★ご希望の方は『わたらい』まで

◆ 県政へのご要望、ご意見など何でもご相談ください。また、法律・税務相談等もお気軽に ◆